第25回民族藝術学会大会プログラム

18日	11:00-12:30	理事会・評議員会　人間館A棟NA409
	13:00-13:15	開会挨拶　大会実行委員長：横内敏人　直心館J41
	13:15-15:15	シンポジウムI：「現代における日本的表現の可能性」直心観J41 コーディネーター：横内敏人（建築） パネリスト：川村悦子（絵画）、 八幡はるみ（染織）、山本太郎（日本画）
	15:30-17:30	テーマ関連発表　直心館J41
	15:30-16:00	明治後期の京都における「美術館」をめぐる考察　山本真紗子（歴史）
	16:00-16:30	大正期の都をどりがめざしていたもの-「琉球」と「朝鮮」の事例をめぐって-　廣井榮子（音楽）
	16:30-17:00	近世板締め〈京紅板締めと藍板締め〉の特色　石塚広（染織）
	17:00-17:30	組香の中の京都　岩崎陽子（美術）
	17:30-18:00	総会・第6回木村重信民族藝術学会賞授与式
	18:30-20:00	懇親会　至誠館3F食堂　直心館J41
19日	9:00-12:10	一般発表　直心館J41
	9:00-9:30	セザンヌの東洋的な自然観-鉄斎絵画との同質性をめぐって－山岸恒雄（美術） 1910年前後の西洋及び日本におけるゴーギャン受容　住田翔子（美術）
	9:30-10:00	マザラン邸（パリ、1642-1661）の室内装飾に見られる東洋（日本）趣味につ
	10:00-10:30	いて－同家の財産目録から読み取れるもの－　吉田富子（歴史）
		（休憩）
	10:40-11:10	韓国のチェッコリ画とその現代的表現　裵京姫（染織）
	11:10-11:40	チベット仏教寺院の文様にみるヨーロッパ文化の伝播ついて－インドヒマチャルプラディシュ州タボ・ゴンパ壁画と立体曼陀羅を例に－　森田登代子（生活文化）
	11:40-12:10	ネワール族の文化の独自性－無形文化遺産保護の観点よりガン・ピャカンを考える－　上野（一柳）智子（舞踊）
	13:00-15:00	シンポジウムII：「創造する伝統」　直心館J41 コーディネーター：藤井秀雪（美術） パネリスト：綾部之（京木地師）、野村幸雄（小紋型紙職人）、 村田好謙（漆芸作家）、14世 面屋庄甫（京人形司）
	15:20-18:00	一般発表　直心館J41
	15:20-15:50	茶の湯の音－『日本教会史』における「市中の山居」を糸口として－　岡本文音（茶道）
	15:50-16:20	能はいかなる演劇か－近代の人文学諸分野の言説と世阿弥の芸論をてがかりに－　天野文雄（演劇）
		（休憩）
	16:30-17:00	ロシア連邦サハ共和国での音楽活動の場－国主催の自主活動（サマジェヤチリナスチ）－　山下正美（音楽）
	17:00-17:30	〈アルス・ガリカ〉から「フランスの歌」へ－近代フランス音楽の表象におけるブルターニュの役割－　安川智子（音楽）
	17:30-18:00	明治期末の松江市における西洋芸術音楽の普及について　上野正章（音楽）
	18:00-	閉会の辞